

1. 教科の目標

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。
- (2) 面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、核の大きさの意味について理解できるようにする。
- (3) 図形の構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにする。
- (4) 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにする。

2. 到達目標

観点	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
目標	知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもちすぞみちを立てて考える。	算数的活動を通して、整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係を表したり調べたりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味および数量の関係を表し方や調べ方を理解している。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	大きな数	・億、兆の単位と表し方、数の読み方や書き方、大小比較のしかたを知り、整数は十進位取り記数法で表されていることがわかる。
5	円と球 わり算	・円や球の定義や性質がわかる。また、それぞれのもつ構成要素の関係がわかる。 ・あまりの意味や筆算のしかたがわかる。また、「除数×商+あまり=被除数」の関係がわかる。
6	1けたでわるわり算	・除法の筆算形式のよさに気づき、筆算しようとする。
7	しりょうの整理	・(2, 3位数)÷(1位数)の筆算や、答えの確かめができる。 ・身近な資料を異なる2つの観点から調べ、その表し方やよみ取り方を考えることができる。 ・図や表を用い、2つの観点に着目して資料を落ちや重なりなく分類整理できる。
8	角	・回転の大きさを表す量としての角の意味を理解し、角の大きさを表す「度(°)」がわかる。
9	三角形	・二等辺三角形、正三角形の定義・特徴や図形としての角の意味がわかる。
10	2けたでわるわり算	・除法の場面を式に表したり、除法の計算の手順に従って処理をしたりすることができる。 ・除数が2位数の場合でも、除法の計算ができる。
11	面積	・広さを数値化するよさに気づき、測定する広さに応じた面積の単位を使うことができる。 ・長方形や正方形の面積を公式を使って求めることができる。
11	折れ線グラフ	・資料を折れ線グラフに表し、そのグラフの線の傾きから、部分の変化や全体的な傾向をよみとることができる。
12	小数	・1/10の位までの小数の加法、減法の計算のしかたを考え、計算ができる。 ・小数の意味とその表し方がわかる。また、小数の相対的な大きさがわかる。
1	がい数	・四捨五入して、目的に応じた概数を作ることができる。
2	式と計算	・概数の意味を理解し、場面に応じた使い方がわかる。 ・数量の関係を式で簡潔に表したり、式を正しく計算したりすることができる。 ・四則混合の式や( )を用いた式の意味を理解し、計算の順序がわかる。
3	分数 ともなって変わる量	・分数の表し方と仕組みがわかり、分数のよさがわかる。また、真分数・帯分数・仮分数の意味がわかる。 ・ともなって変わる2つの数量の関係を表に表したり、グラフに表したりすることができる。
3	4年のまとめ	

4. 評価の観点・方法

・次のような方法で評価していきます。  
発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 発表 取り組む様子

5. 保護者の皆様へ

4年生では、コンパス、分度器、三角定規などの学習用具をもちいての学習が多くあります。用具を忘れると学習に支障をきたします。学校でも忘れ物をしないように指導しますが、ご家庭でもご指導のほどよろしくお願いします。また、今までの四則演算を使って、分数や小数の計算があります。基礎的な計算の定着を図るために反復練習をさせていただきます。本年度は、研究授業のため、11～1月が教科書通りの順番になりません。